

障がい者避難スペースづくり体験 報告

日 時：平成26年3月16日（日）10:00～11:30

場 所：大岡小学校 体育館

参加者：当事者 7名、家族・支援者 8名、本大岡地区 約30名、その他 5名

南区障害児者団体連絡会（区障連）が本大岡地区社会福祉協議会（本大岡地区社協）の協力を得て、障がい者避難スペースづくり体験を実施しました。昨年度に引き続き2回目の実施となりました。今回は、災害時に避難所の運営の中心となる、自治会・町内会長の皆さんにご参加いただきました。当事者・支援者から“災害時に不安なことや支援してもらいたいこと”について話をしてもらい、早速避難スペースづくりを開始。

避難スペースづくりは、当事者・支援者の意向を聞きながら行いました。



車いすを利用されている方は目線が高いので、高めの壁を作っています。
スペースは車いすでも通りやすい場所に設置する等の配慮が必要です。

視覚障害の方からは、出入り口がわかりやすくするために、手すりや壁がある場所が良いとの希望があり、ステージの目の前にスペースを設置。
出入り口を段ボールで高さを変える等のアイデアもありました。



本大岡地区の方から…

- 本人の意向を聞くことが大切だと感じた。
- 継続して訓練を行っていくことが大事。
- よい取組みなので、参加者の幅を広げてほしい。
- 町内会連合会の防災訓練と合同開催してはどうか？
- 障害者と接する機会を持てて良かった。

